



のびのび若っ子

希望を胸に

校長 中島 早苗

季節がめぐり、若葉台にまた美しい春が訪れました。季節外れの陽気で、校庭の桜は見頃を過ぎてしまいましたが、春を想って学年や委員会で植えた色とりどりの花が美しく咲き、新学期をお祝いしているかのようです。

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。3月に卒業生が巣立ち、4月に新入生と転入生を迎え、全校で416名のスタートとなりました。子どもたちは、期待と希望を胸一杯にして新学期を迎えたことと思います。その思いを大切に、よりより成長を支援できるように教職員一同、気持ちを新たに組み立ててまいります。子どもたちの学びがより一層充実できるように、環境の整備も図ってまいります。

さて、今年度も、教職員の異動がありました。3月に離任式を行いました。保護者の皆様、地域の皆様には今まで大変お世話になり、ご支援をありがとうございました。着任いたしました教職員も、同様によりよろしくお願いいたします。異動の詳細と新年度の組織につきましては、別ページに記載しておりますので、ご覧ください。

昨年度末の修了式では、5年生が最高学年になることの決意を話し、全校に向けて「よりよい学校をみんなと一緒につくりたい。」と明るく力強く呼びかけました。学校の一体感を求め、たてわり活動、委員会活動を行い、学校全体をリードし活躍してきた6年生のバトンは確実に引き継がれたと感じました。3月には1年生が、幼稚園保育園の年長クラスに小学校の生活を伝えたいと動画作成をしていました。学校生活について、相手を意識してわかりやすく伝えようと、話し方や動作、構成を工夫していました。一人ひとりが考えて取り組んでいることや話し方を何度も練習したことが、よくわかりました。子ども自身が強く願ったことは、努力をする原動力となり、ともに知恵を出し合う必然になり、次のステップにつながることを改めて強く感じました。ツールとしてタブレットを使っても、根底には以前から大切にしてきたものがあります。

教育においては、どんなに社会が変化しようとも、時代を超えて変わらない価値のあるもの（不易）と時代の変化とともに変えていく必要があるもの（流行）があります。本校の教育目標は時代がどんなに変化しても変わらない価値のあるものです。変わらない価値のあるものを大切に、変えていく必要があるものの意味を見極めた上で教育活動に取り組んでまいります。

今年度も、子どもたちを真ん中に据えて、学校と保護者の皆様、地域の皆様が手を取り合っていきたいと考えております。ご理解、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切にすることを育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』